

k.LAB-JAPANセミナー

再エネ促進区域・
ゾーニング分野

生態系サービス
マッピング分野

日本の環境政策分野における Web-GIS型AIプラットフォームの活用 ～ARIESアプローチ～

大阪

日時：2023年12月4日（月） 15:00～17:00
14:30開場

会場：大阪大学工学研究科
センテラスサロン（裏面地図参照）

参加費：無料（定員 30名程度）

参加希望者は以下のweb formより申し込みください。

<https://forms.gle/rZKj2iqZSwr3gsGo6>

申し込み期限：11月30日（木）12時

※定員に達し次第、締切



Program 講演①のみ英語、その他日本語

講演① Ferdinando Vilia 教授（Basque Centre for Climate Change, Spain）
「ARIES、web-GIS型AIプラットフォーム（k.LAB）の概要説明
デモンストレーション」

講演② 林希一郎 教授（名古屋大学）
「エネルギー・環境評価ツールを用いた事例研究成果の紹介
ARIES・k.LAB日本モデル①」

講演③ 岡澤宏 教授（東京農業大学）
「エネルギー・環境評価ツールを用いた事例研究成果の紹介
ARIES・k.LAB日本モデル②」

主催：大阪大学大学院工学研究科 町村研究室

共催：名古屋大学未来材料・システム研究所 林研究室

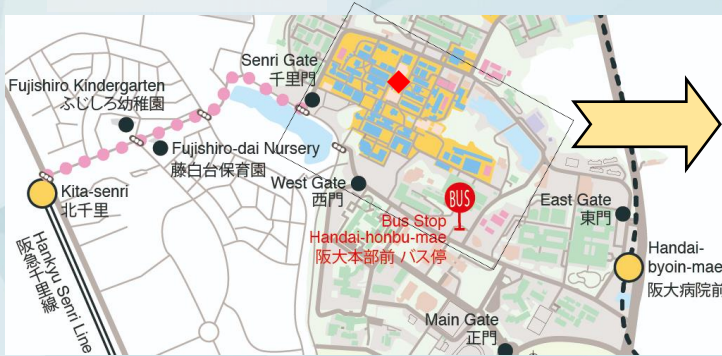
セミナーについてのお問合せ先（contact）

大阪大学大学院工学研究科 町村 尚

E-mail: mach@see.eng.osaka-u.ac.jp

Phone: 06-6879-7391

会場案内



大阪大学 大学院工学研究科
(吹田キャンパス)



会場：工学研究科 センテラス3F
センターラスサロン

阪急千里線「北千里」駅、徒歩20分
大阪モノレール「阪大病院前」駅、徒歩15分
阪急バス*1・近鉄バス*2「阪大本部前」バス停、徒歩10分
*1 北大阪急行線「千里中央」から約25分
*2 JR京東線「茨木」から約35分、阪急京都線「茨木市」から約45分

Overview

政策ニーズに合致する分析を、簡素に、視覚的なインターフェースで実施する地球環境分析プラットフォームの政策応用・社会実装可能性を問う

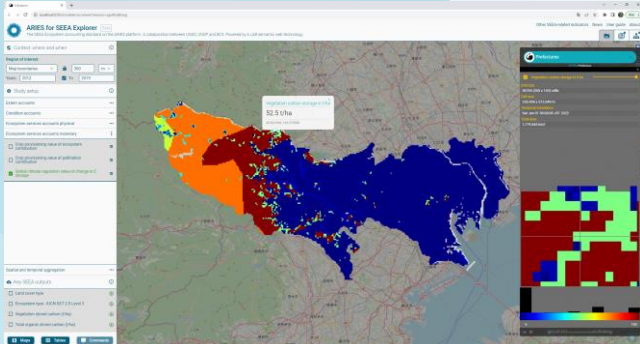
現在の地球環境分析はGISソフトウェアが中心となっていたが、近年の研究ではより簡易に操作ができ、実務者レベル導入がより現実的となるプラットフォームが提案され始めている。

ARIESは、生態系サービスの代表的な統合モデル開発を目的に、BC3 (Basque Centre for Climate Change BC3, Spain) が中心となり進めている研究プロジェクトである。ARIESでは、web-GIS型の環境・持続可能性評価独自プラットフォームを使用しており、国連環境計画 (UNEP)、国際連合経済社会局 (UN DESA) が環境・経済勘定 (SEEA EA) の評価を行う公式ツールとして既に政策分野として既に活用されている。

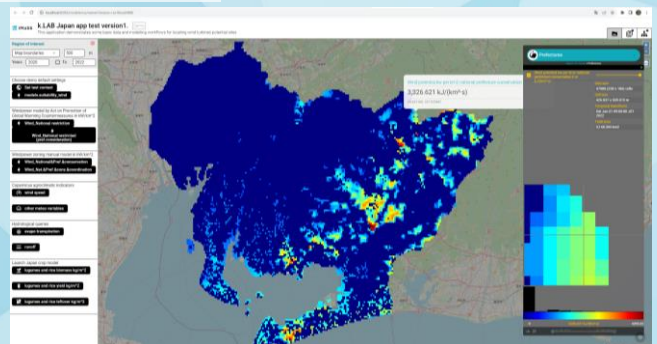
ARIESの強みはシンプルなインターフェースを有することであり、エンドユーザーレベルで操作可能な簡便性を持つ。近年では「再エネ促進区域に関連するゾーニング分野」や「生態系サービスマッピング分野」といった具体的な日本の政策に関連した研究が報告されている。

本講演会では、ARIESの概要及び近年の研究成果を説明するとともに、日本の環境政策への具体的な活用可能性等について議論を行う。

ARIESによる評価モデル一例



農作物炭素ストック推計モデル



陸上風力適地候補抽出モデル



k.LABについてのお問合せ先 (contact)
名古屋大学未来材料・システム研究所
担当：林 E-mail: maruhaya98--(at)imass.nagoya-u.ac.jp